

TRIAL エアロパーツ

トライアル号のリアスポイラーは、実はトライアルのGT-R用のリアスポイラーを加工したもの。コースによってスポイラーの角度を2段階に調整でき、さらに取付位置も前後に10cm動かせるようになっている。ミニサーキットなら効きを弱く、大きなコースなら後ろの位置でおかつ羽根を立てるようセット。非力なマシンほどコーナー勝負だ！
●トライアルプロジェクト ☎0722-54-9777

99,000円

機能的なエアロは立派なチューニングパーツ。
10万円で1秒短縮だ!?



エアロチューンは、初めにやっても、最後にやっても面白いというトライアルの牧原さん。



羽根の角度は2段階の可変式。下側のスポイラーは、F1風に「へ」の字になっており、整流効果?とデザイン上のアクセントになる。



スポイラーの位置はなるべく後ろのほうが、効果大きい。タイトコーナーが多いコースでは、前側にセットして対応する。



100km/hオーバーぐらいから、その効き目が現われる。トライアルのリアスポイラー。その安心感がタイムアップにつながるのだ。



先日筑波のラップタイムを7秒台から5秒台に縮めたトライアル・ロードスター。リアスポイラーが果たした役割はかなりの大きいとのこと。

機能性を考えた フロントスポイラーも



よりハイパワーな1800に合わせ、まもなくリリースされるフロントスポイラー。もちろんリアスポイラーとの空力的バランスもバッチリで、ラジエターの冷却効果もアップする。リリースが待ち遠しいエアロパーツだ。

「10万円で、走りをグレートアップさせたい」というのなら、エアロパーツがええんちゃう」というのは、トライアルのマツキこと、牧原さん。牧原さんがいうエアロとは、もちろんドレスアップ用のものではなく、空力的に効果のある、走りのためのエアロである。ロードスターは基本的に、オーバーステアの傾向が強く、ただ単にパワーを上げていってもコーナー出口でリアが逃げてしまい、パワーが上がった分、直接タイムアップにつながらない場合がある。

もちろん足まわりでセットしてもいいんだけど、もっと安値で簡単に、ニュートラルステアに近づけられるパーツが、きちんとダウンフォースを発生するリアスポイラーなのだ。こうしたエアロがその効果を発揮するのは、筑波の最終コーナーのような、踏みつきりの高速コーナーということになるが、こういう高速コーナーこそもっともタイムに影響するというのは、みんなも知ってのとおり。

こういうコーナーでエアロを効かせると、安心感が全然違い、必然的にアクセルもたくさん踏めるようになる。

牧原さんも「エアロでなにが生れるかといったら、それはなにより安心感や。足を固めていっても安心感が出てこないやろ。エアロの効果を試してみれば、トランクに10kgぐらいの重りを積んで、高速コーナーを走ってみればすぐ分かる。サーキットでタイムを出したいのなら、どこまでも、びびらずに踏めるようなクルマに仕上げるべきだし、それにはエアロが一番や」といっている。もちろんエアロのセットも奥が深い、機能的なエアロは、足まわりに近い楽しみがあるぞ。

(藤田竜太)

Photos/Kiyoshi Kawabata